



令和5・6年度 大島地区指定研究協力校「指導方法改善」 伊仙町立犬田布小学校公開研究会

令和6年10月23日(水)

研究主題の設定

【令和の日本型学校教育】
「個別最適な学び」と
「協働的な学び」の一体的な充実

【鹿児島県教育委員会】
・子ども主体の学事の実現
・シリジン式評議者の育成
・児童のアッパークート

【児童の実態】
・アンケート調査
・授業の様子
・各学年力別質問・相談（令和5・6年度）
鹿児島県立小学校検査、NRT、文部省調査

【教師の思い】
・協働的な学びの考え方を身に付けてほしい
・協力遊びの機会を増やしてほしい
・効率的なICTの活用法を知りたい

研究主題の設定

令和5年度 研究の概要

「学び方」を学ぶ
授業になっているか？自分の学びの調整を図りながら、主体的に学べる授業づくりが必要だ。

授業で何がめあてなのか分かっていない。自分の考えを出すための見通しや方法を上手く見出せていない。

協働的な学びを楽しむ経験をさせたい。そして、違う意見が出たり、教えていたりすることで自分の考えが深化することを、もっと実感することはできなか。

研究主題

児童の学びを広げ・深める授業デザインの構築Ⅱ ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して～

目標する児童像

課題解決への見通しをもち、自分の学びを調整することができる児童

自分の考えを表現し、学び合うことができる児童

自分の変容や学びを自覚し、次の学びにつなぐことができる児童

研究内容を支える4つの視点

「犬田布スタンダード」「ICT活用」「学習者主体の学び」「特別支援教育」

【研究内容1】 学びの見通しをもち、学びの方法を選択・決定するための工夫

【研究内容2】 互いの考えを広げ・深める協働的な学びの工夫

【研究内容3】 自分の学びを実感し、次の学びにつなぐ工夫

【研究内容1】 まじめの見通しをもち、学びの方法を選択・決定するための工夫
見通しをもって課題を解決するための工夫

【研究内容2】 互いの考え方を広げ・深める協働的な学びの工夫
学び合いで工夫を示す工夫～児童の悩みを解決～

【研究内容3】 自分の学びを実感し、次の学びにつなぐ工夫
自分の学びを弱めし、次の学びにつなぐ振り返りの工夫

2年国語科公開授業 学びの見通しをもつ場
4年体育科公開授業 学び合いの場
5年社会科公開授業 振り返りの場

全体会Ⅰ 研究発表
2年国語科 分科会
4年体育科 分科会
5年社会科 分科会

全体会Ⅱ 指導講話
閉会のあいさつ

参加された先生方へのアンケートより

- 児童理解と学びの個別化、最適化を打ち出されており、今後の学校教育のスタンダードになるような研究だと感じました。
- 特別支援の観点から、児童の実態把握をしっかりと行い、授業を組み立てているところがとても勉強になりました。
- 振り返りの視点のINTBの設定が素晴らしいと思いました。